

昨日の下校の時 1 年生の子数人が「明日はよろしくお願ひします！」と笑顔で声をかけてくれた。今日は、1 年生の担任の都合があり、温水プールで合流することになっている。それまでは、ピンチヒッターをする。このことを先生は、上手に子どもに話してくれたようだ▼朝、だれもいない教室で子どもを待つ。さっそく元気な声が聞こえてきた「校長先生おはようございます」「あっ！校長先生おる」続々と教室入ってきた▼ランドセルから用具を引き出しに移し、宿題等の提出物を前に出しに来る。ここまででは、どの学年でもたいてい同じルーティン。しかし 1 年生はここからが違う。ペタペタと寄ってきて、なんだかんだと話し始める。自分の話をする子もいれば、質問する子もいる。口々に話すとはこのことだ▼温水プールへの出発時刻が来た。朝の会の様子でも思ったが、子どもはよく育てられている。担任の先生の 4 月からの指導の賜物だ。集団生活の中で社会性を育てている▼バスの中では、「静かにするゲーム」をしていた。バスの中で大人しく静かに座っているというゲーム。大人しくというのは、シートベルトのおかげでできている。「静かに」というのは、難しい。しゃべりたい子は口々に言いたいことを言っている▼バスの中は、三間がそろっている。仲間・時間・空間。行も帰りもバスの中の素の子どもの会話がとても楽しかった。